

平成 2 9 年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書
(平成 28 年度事業)

市民による市民のための公民館
～地域に生きる市民の底力～

平成 2 9 年 9 月
日野市中央公民館

目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用事業（平成28年度）	1
(3) 組織・職員	2
(4) 主な業務	2
4. 評価の実施方法	2
5. 評価の対象	3
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	4
日野市中央公民館評価表	6

資料

I 公民館事業のあらまし	20
II 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	52
III 公民館運営審議会委員名簿（第26期）	53

1. はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することにしました。

2. 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3. 公民館の現状

(1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m ²	昭和 41. 7. 1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m ²	平成 16. 4. 21	程久保 550 教育センター内

(2) 貸室利用状況（平成 28 年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、講座室 A・B、調理実習室、保育室	43, 034 人
中央公民館高幡台分室	講座室 1～6、実習室、和室	28, 106 人

- (3) 組織・職員 ※平成 29 年 3 月 31 日現在
- 1 課 2 係 (管理係・事業係)
 - 正規職員 7 人
 - 再任用職員 1 人
 - 臨時職員 2 人
 - 嘱託職員 (コミュニティワーカー) 1 人

(4) 主な業務

- ・公民館活動 (成人・高齢者・青少年対象の講座等) の企画運営
- ・公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・公民館施設の貸し出し管理等

4. 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である第 26 期公民館運営審議会委員 (資料Ⅱ参照) の意見を伺いながら行いました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を総括いたしました。

5. 評価の対象

評価の対象は、「平成 28 年度中央公民館基本方針」にある基本施策 10 件及び重点施策 4 件を対象といたしました。

1 基本方針

公民館を日野市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

2 基本施策

- (1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。
- (2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。
- (3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。
- (4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開

する。

- (5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。
- (6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。
- (7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。
- (8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。
- (9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業を展開する。
- (10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

3 重点施策

- (1) 中央公民館開館 50 周年を機とした記念事業を実施する。
- (2) 「新しいことが生まれるみんなの居場所」としての談話室の活用をすすめる。
- (3) 情報発信力の向上を図る。
- (4) 学びの場の充実として、基本施策 2・6 についてを重点施策とする。

6. 評価の結果

《公民館運営審議会からの総評》

日野市中央公民館では、高幡台分室も含め、この 1 年も文字通り多種多様な分野にわたるさまざまな催しが行われ、多くの市民が参加した。参加者は、日野市という「人材豊富な街」を実感されつつ、それぞれ得難い経験をされたことと考えられる。

今後は現在の利用者以外に新たな利用者を取り込むことがカギとなる。新しい呼びかけ方法を考えるなどが課題と思われるが、地域コミュニティの希薄化が指摘される今日にあって、公民館活動が地域の結びつきの端緒となることができれば、ますます公民館の意義は大きいものとなるに違いない。

50 周年を迎えた日野市中央公民館（分室を含む）の今後に向けて、全体的には充実した事業展開が図られたと評価する。重点事業としての周年記念事業については、ハード面、ソフト面ともに成果が見え、今後の公民館の発展に向けて、さらなる飛躍を期待していきたい。今後の公民館運営の具体的運営デザインを周年事業に明確化していけるとさらによかったと感じる。

重点事業（2）にうたう「新しいことが生まれるみんなの居場所」というコンセプトは、市民が集まり、そこでつながり、新しい公民館を創造していくという大切な試みとして、具体的な最初の一步を踏み出せたと評価する。

職員と利用者とのつながりを大切にするために、談話室と事務室との壁を取り払ったのは、成功したようだ。公民館まつりの際の「ミニバラエティサロン」や、ひの児童館、日野市社会福祉協議会・ボランティアセンターと「ご近所会議」を開催し、連携を図ったことも評価したい。このような目に見える変化が、今の公民館に求められている。

「いつでも」「どこでも」「だれもが」学び、学び合える場として、公民館の役割を発信し、事業の充実が図られることを期待する。

以下に、今後の課題を記しておきたい。

- ・将来の「公民館っ子」を育て、公民館ファンをさらに増やす。
- ・青少年、家族層を中心とする参加型の事業の企画をすすめる
- ・公民館の学びは、市民のつながりに結びつくものであり、サークルは一つの目標となる
- ・児童館、小中学校、高校、大学との連携を図ることで、若い世代を公民館へ取り込む
- ・カルチャーセンター的事業ではなく、学びを市民個人の日常生活に入り込んだもので必要に応じて市民活動、市民生活に導かれるものを実施する。
- ・少しずつだが毎年改善されていることがたくさんある。とどまることなく継続してほしい。

今後も、市内にある施設を利活用し「待ちの公民館」ではなく、市内広範囲に出向く公民館として事業展開を進めてほしい。地域に出向くことが、その地域への公民館の「広報活動」を兼ねることができると思われる。

だれもが使いやすく魅力ある施設となるよう中央公民館の整備も進めてほしいと切に願う。

《公民館の自己評価》

平成 28 年度中央公民館事業について、公民館基本構想の実現に向けて基本計画に沿って、基本施策の 10 の柱を踏まえて 80 事業及び公民館開設 50 年を視野に入れた事業を展開した。

全体として、学びの場の充実をさらに図り、幅広い年齢層のニーズに合わせた多彩な学びの機会を提供することができた。

実績数値から分析すると、平成 28 年度において公民館主催事業の参加人数は延べ 19,472 人、中央公民館施設利用者数延べ 43,034 人、高幡台分室延べ 28,106 人となり、年間延べ 90,612 人が公民館事業に関わったという結果となった。

個別の成果として、ひの市民大学においては、硬直化していた課題を乗り越え、幅広いジャンルでの市民企画が提案、実施され、新しい視点での学びをひの市民大学に取り入れることができた。一昨年から市民企画運営委員会のリニューアルに取り組み、ひの市民大学が新しい学びの形を生み、市民が求める学びを深めていくみちすじが、整理されたと考える。

また、公民館講座から自主サークルとして新たに3つの団体が結成することができた。特に、子育て講座から若いお母さんたちによるサークルが生まれたことは、若い世代が公民館に来ているという成果につながっている。引き続き、サークル支援を進めていくことで、未来の公民館を支える世代を育てていきたいと考えている。

重点施策としては、50周年を機に「新しいことが生まれるみんなの居場所」をコンセプトに、中央公民館のハード面の改修、ソフト面の充実をすすめた。「学び」から「つながる」の仕掛けとして、近隣施設との「ご近所会議」の立ち上げ、整備した談話室を活用して「ゆるカフェ時間」の創出に取り組んだ。ご近所会議では、児童館や図書館、ボランティアセンターとの情報交換の場として定例会議をもち、ゆるカフェ時間ではお互いの施設利用者などがともに集い、楽しい時間を過ごせる場づくりを実施した。今後も、みんなの居場所をコンセプトに、新しいつながりを公民館から生み出し、豊かな地域づくりに向けて発信していきたい。

また、公民館が担う「学び」は、時代のニーズや地域の課題や特性などを生かし、視点を外に向けて学びのアウトリーチを図っていきたい。

公民館評価の結果を踏まえ、「新しいことが生まれるみんなの居場所」として、これからの公民館の在り方、新たな視点での学びの提供などの事業展開を進めていきたいと考えている。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを 実感できるような事業の展開を図る。		
事業の概要		事業経費	【謝礼】 1,273,800円
【目的】 すべての人が学ぶことの楽しさ、集うことのすばらしさを実感できる事業を展開することを目的とする。 【28年度に実施した講座・事業】 超初心者向けインターネット講座「パソコン使って楽々ライフ」「はじめての陶芸～自作の器で過ごす優雅な時間を思い描きながらそばちょこ皿の製作」「子育て・子育て学び合い連続講座。私の子育てこれでいいの？～あなたが子育てで大切にしたいことは何ですか～」 「大人の理科室」等のほか公民館開設50周年記念講演会を含む28講座・講演等を実施した。 【内訳】成人事業12、高齢者事業3、青少年事業2、ひの市民大学4、映画会6、公民館開設50周年記念事業1		延べ参加人数	2,684 人
事業の成果	例年同様、幅広いジャンルの講座を企画・実施した。 子育て、大人の理科室など、これまでにない新たなジャンルの講座を展開し、新たな参加層をねらい、効果があがる講座もあった。公民館の認知度を高めることを目指した事業も行っている。 若年から高齢者までの広い年齢層から多くの方の参加を期待していたところだが、想定より少ない参加者となった講座もあった。今後、日程・時間帯・会場を含めて内容の精査を行う必要がある。		
公民館運営審議会の意見	・それぞれの講座について、手ごたえがあり、実施してよかったと思う。 ・サークル化は、多くの講座の目標として持ちたいが、重要なのは世話役からリーダーへの育成であろう。そのためには、講座内でも受講者間のコミュニケーションが必要であろう。 ・多岐にわたる講座を行うことも大切だが、年度ごとに事業方針にアクセントをつけて推進することを提言したい。 ・全体を通して言えるが、将来の「公民館っ子」を育てるため、子ども対象・親子対象の講座をもっと設けたらどうか。また、公民館以外の公共施設の活用をさらに工夫してほしい。		
事業の課題と改善策	例年どおり、多岐にわたる講座を展開した。今後とも、幅広い世代の市民のニーズにこたえられるような内容をもっていきたい。 公民館が担う「学び」の場の充実を図り、公民館事業を広く周知していくことに努めていく。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(2) 誰もがともに生き学ぶあう機会を保障し、 相互理解の推進に努める。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 4,638,360円
【目的】 多文化共生、障害者と健常者の交流、世代間交流、男女平等参画社会の推進を図ることができることを目的とする。 【28年度に実施した講座・事業】 「国際理解講座 モンゴルから見える日本～家族・教育・暮らし」「おんがくでおでかけ」「パラリンピック競技を体験しよう！ゴールボール編」など5講座と「少年学級」「青年・成人学級」「外国人のための日本語教室」の3つの委託事業を実施した。 【内訳】 成人事業3、委託事業3		延べ参加人数	5,282人
事業の成果	重点事業として、施策を展開した。 委託事業として継続して実施している「少年学級」「青年学級・成人学級」では、参加者が社会性を身につける学びや学び合いの機会の提供ができた。また、同じく委託事業の「外国人のための日本語教室」は、市内に暮らす外国人にとって、重要な学習機会となっていて、ニーズは非常に高い。 講座については、初めてのジャンルとして「LGBT入門講座」を実施した。難しい課題に公民館が取り組んだことに市内でも関心が集まった。 結果として思ったほどの受講者が集まらないものもあったが、今後も継続して実施していくことが必要と思われるテーマなので、PR方法、参加者増に向けての方策を考えたい。		
公民館運営審議会の意見	・東京オリンピックに向けて、ますます国際理解は重要なこととなるであろう。国際理解講座の拡充を望む。 ・少年学級、青年学級、成人学級の周知と相互理解を、より進めたい。 ・大学やNPOとの連携機会を増やすといい。 ・日本語教室の参加者の多さを評価したい。 ・重点事業として、新たな講座を含めて実施したことを評価する。		
事業の課題と改善策	相互理解という観点から、世代間、障害者と健常者、国籍など、さまざまな「交流」「理解」を図ることをめざす事業展開を進めたい。日野国際友好クラブや少年学級、青年学級など委託先と公民館とで「ともに生きる」のスローガンを大切にしながら、公民館主催事業も視野にいれ、協力体制をつなげていきたい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを 理解できるような事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 385,000円
【目的】 健康志向の高まりの気運を受け、食育などに応じた事業を展開することを目的にする。 【28年度に実施した講座・事業】 「ココロの癒し講座～ストレスとうまく付き合うメンタルトレーニング」 「おとなの食育講座～カラダの内側からキレイ・元気に」「みんなでめざそう アスリート」など6講座と委託事業「ひのっ子シェフコンテスト」を実施した。 【内訳】 成人事業2、高齢者事業2、ひの市民大学2、委託事業1		参加延べ人数	766人
事業の成果	メンタルトレーニング、食育、走ることなど、「健やかに生きること」を様々な視点で考えるための講座を実施した。 平成28年度で10回目を迎えるひのっ子シェフコンテストは、小学生が食育について考える場として、定着してきている。学校給食に携わる栄養士や給食調理員が選んだ「敢闘賞」は給食メニューに取り入れられ、子どもたちの食の意識を高めるきっかけとなっており、この事業の成果がフィードバックされている。		
公民館運営審議会の意見	・バランスよく企画されている。健康志向が高まっている現在、さらに健康に関するだれもが興味を持てる講座を展開してほしい。また、公民館に来られない高齢者向けに、地区センター等への出前も考えてほしい。 ・関心が高い健康に関する講座は、公民館がイニシアティブを持ちながら他部署との連携をしながら地道に継続していくことが必要であろう。		
事業の課題と改善策	市民ニーズも強く、関心も高い「健康」「健やか」というキーワードに基づく講座の展開をしていく。また、高齢者市民企画会議の市民委員の意見や講座参加者からの声を活かして、効果的な講座を企画したい。シニア世代も気軽に公民館事業に参加できるよう、地域に出向いての事業の開催に重点をおきたい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(4) 自然と人間との共生・人間相互の共生を はかるような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 403,000円
【目的】 循環型社会、持続可能な社会の形成を意図した事業を展開することを目的とする。		延べ参加人数	862人
【28年度に実施した講座・事業】 「親子で大豆を育てて豆腐を作ろう」「地球温暖化の諸問題とその防止対策」「日野の生きもの 最近のトピックス 昆虫篇・植物篇・野鳥編」の3講座と委託事業「田んぼの学校」を実施した。			
【内訳】 成人事業2、ひの市民大学1 委託事業1			
事業の成果	自然と人間とがバランスよく共生することを考える場としての事業・講座を展開した。体験の場を交えた講座も行い、自然とかわりながら作業を楽しんでいた。 特に、田んぼの学校では、年末に収穫祭を行い、参加者間の交流を図った。		
公民館運営審議会の意見	・豊かな自然が残る日野市の特徴を学ぶ場として、今後とも継続してほしい。 ・公民館と関係部署との連携を図りつつ、公民館の役割・立ち位置を明確にした講座展開を。 ・家族による体験型の事業をこれからも継続してほしい。		
事業の課題と改善策	引き続き、日野市の特徴である自然の豊かさ、変化の面白さを活かした事業を進めていく。委託事業である田んぼの学校についても引き続き積極的な事業展開をする。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼】 102,000円
【目的】 安全で安心できる街づくりを意図した事業を展開することを目的とする。		延べ参加人数	112人
【28年度に実施した講座・事業】 「防犯講演会～犯罪心理学の観点から」「日野の河川と水害～茨城県常総市を例に」「地域防災と多文化共生～東日本大震災で何があった」「防災は過去から学べ～郷土史の現場からみた過去の災害」の4講座を実施した。			
【内訳】 成人事業3、高齢者事業1			
事業の成果	防犯について1講座と防災について3講座を開催した。それぞれ関心が高いものと思われるが、想定したほどの参加者は得られなかった。 防災については、今年度は水害について実体験から学び、東日本大震災時に外国人の支援をした団体の話を聞く場、また防災を郷土史から知る場も設けた。		
公民館運営審議会の意見	・防災・防犯については、常に注意喚起が必要。今後も多くの事例の紹介や対処方法を学ぶ場がほしい。 ・より多くの参加者を得たい。特に若者にも興味をもてるような工夫を。具体的な興味がわくような内容であってほしい。 ・防災については、他の機関や学校との連携も必要だろう。たとえば若い教職員の「研修の場」と組み合わせて、効果があがる講座にできないか。		
事業の課題と改善策	重要な課題である防災・防犯については、受講者が積極的に考える場となるような講座としていきたい。そのため、地域や家族とともに有意義に参加できる場をつくることを検討する。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(6) 日野市をふる里として生きていけるような、 地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。		
事業の概要	経費	【謝礼】 273,000円	
【目的】 自分の住んでいるまちを「ふる里」と呼べるようなまちづくりをめざした事業を展開することを目的とする。 【28年度に実施した講座・事業】 「親子でスイカ・マクワウリを作ろう」「日野の用水の面白さを発見!」「日野囃子を踊ろう」「ふるさと日野歴史散歩」「ひのの歌今昔～日野音頭からひのソングまで」など9講座を実施した。 【内訳】成人事業5 ひの市民大学4		延べ参加人数	482人
事業の成果	重点事業として、この施策を展開した。 日野市を考える場として、9つの講座を開催した。各講座とも、多くの参加者を得て、日野市について用水・市の歌、まちあるきなどの視点から見直す場となった。		
公民館運営審議会の意見	・日野市の歴史を多面的にとらえていて、歴史認識や愛着を深めるための講座として、評価する。今後も継続を。 ・市民が日野市のことをさらに知り、よいところを発見できるような場にしてほしい。 ・日野の歴史や日野が生み、日野が育てた偉人・偉業を紹介する事業を展開してほしい。		
事業の課題と改善策	市民が、自ら暮らす地域に目を向け、その魅力を知ることができるような講座を積極的に実施したい。子どもから大人までがそれぞれの目線で日野市を見てほしい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 1,600,530円
【目的】 地域に生きる市民の文化を、自ら発信できるような意識・気運を醸成することを目的とする。 【28年度に実施した講座・事業】 「新たな自分を発見!! からだあそびプロジェクト」、「ロゴづくり」の2講座、公民館まつりに合わせて行った「プロ棋士・村山慈明七段が日野市にやってくる〜15人と多面指し」および「ミニバラエティサロン」「フラメンコギターの調べ」など5つのバラエティサロン、「公民館まつり」「ひのアートフェスティバル」「分室まつり」の3つのイベントを実施した。 【内訳】 成人事業1、バラエティサロン5、ひの市民大学1、イベント3		延べ参加人数	9,371人
事業の成果	体験型の講座として「新たな自分を発見!! …」を、またデザインについて学び実践する「ロゴづくり講座」の2講座を行ったほか、将棋多面指しや落語を含む多彩なステージを展開するバラエティサロンを実施した。 また、イベントとして公民館まつり・ひのアートフェスティバル・分室まつりを開催し、多くの市民が訪れた。 *イベント来場者 公民館まつり（公民館開設50周年記念）4,200人、ひのアートフェスティバル 3,900人、分室まつり 600人		
公民館運営審議会の意見	・まつりについては、多くの来場者があったが、新鮮味に欠けていた。また、会場の雑然さは否定できない。また、来訪者への案内に工夫があってもよい。 ・お祝いの会、将棋多面指しは、まつりを盛り上げるのに大きな効果があったと思う。 ・今後も、内容を工夫して、継続してほしい。特に若手芸術家の発掘も。		
事業の課題と改善策	公民館の定番事業として、バラエティサロンやまつり等のイベントを実施している。公民館として、これらの事業をおこなっている意味と意図を再認識することが必要である。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような 事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 220,000円
【目的】 地域や暮らしと結びついた憲法学習・平和学習を展開し、市民力・自治能力をそだてるような事業を展開することを目的とする。 【28年度に実施した講座・事業】 講座「私たちの“意思”ってなに？ 18歳選挙権時代へ」「民主主義と立憲主義のはなし」の2講座のほか、平和事業を委託事業として実施した。 【内訳】 成人事業2、委託事業1		延べ参加人数	201人
事業の成果	幅広い年齢層に「平和」について考える機会を提供した。平成27年度に引き続き市民実行委員会の手による平和事業を展開した。 また、タイムリーな話題として「18歳選挙権」「立憲主義」を学び、考える講座をおこなった。		
公民館運営審議会の意見	・重要なテーマである。今後とも継続的に実施してほしい。 ・小中学校との連携を持ったらどうか。 ・憲法の大切さを、平易な内容から始めて、若者の参加を得る工夫が必要か。 ・18歳選挙権については、高校生には特に参考になる内容であろう。 ・市内の大学生や高校生といっしょに考えていく市民参加・参加型の講座構成を地道に取り組んでほしい。 ・これからも、公民館は民主的な学びの場としてあり続けてほしい。		
事業の課題と改善策	平和事業を公民館が市民主体で行うことの重要性和時代のニーズにあった手法などを改めて考えたい。また、社会の動きに左右されず、本質的な理解を手助けできる講座を実施することが必要であろう。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(9) 地域社会を活性化させる担い手となる リーダーの育成を推進するような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼】 129,000円
【目的】 地域の活性化やサークル活動の担い手となるリーダー育成を推進することを目的とする。 【28年度に実施した講座・事業】 「夏休み！公民館で新聞づくり体験」「地域デビュー応援講座Ⅱ フリーペーパーでまちをたのしむ」の2講座を実施した。 【内訳】 高齢者事業1、青少年事業1		延べ参加人数	65人
事業の成果	「夏休み！公民館で新聞づくり体験」は、公民館だより子ども記者を育てることをめざし、実際に公民館だより150号（12月1日号広報ひのに折り込み）に記事を掲載することができた。「地域デビュー講座」については、前年度に引き続き実施した。		
公民館運営審議会の意見	・幅広い年齢層が交流できるように、他部署の協力も得ながらこれからも実施してほしい。 ・地域リーダーも高齢化していく。そのリーダーから「ニーズ」を聞く場があってもいいのではないか。 ・いつまでも公民館主導ではなく、地域市民のリーダーと公民館とがお互いに切磋琢磨するような体制にならないか。サークル化についても同様。		
事業の課題と改善策	地域づくり、まちづくりにおいて、地域で活動・活躍できる市民を発掘し育成することは重要である。今後も、手法を工夫しながら、積極的な事業展開を行う。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(10) 地域や日野市民の生活に根ざした 諸問題を取り上げた事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼】 5,000円
【目的】 公民館としての広報活動の充実、公民館利用者との交流、公民館事業の企画・運営への参画・協働を目的とする。 【28年度に実施した講座・事業】 講座「わくわくマジック実験とお菓子づくりで交流しよう☆プロジェクト」を実施した。 そのほか、市民編集委員が主体となって作成している「公民館だより」を4回発行した。また、1か月に1回、公民館基本構想・基本計画推進会議を開催した。 【内訳】高齢者事業1		延べ参加人数	22人
事業の成果	高齢者・大学生・小学生の三世代交流を目的に、明星大学のサークルとともに講座を展開した。 公民館だよりは、編集委員の意欲的な取材・執筆により、定期的な発行が続いている。 推進会議は、多面的な議論をしながら、公民館について考えている。		
公民館運営審議会の意見	・高齢者と、明日を担う小学生とのコラボは、今後の公民館事業発展のために必要なことであろう。小中学生も対象にしたらどうか。 ・この基本施策10は、1～9を総括する「おさえ」ではないか。この10に講座を位置づける必要があるのか。		
事業の課題と改善策	地域課題は地域に出向いてこそ、見つかるものであり、そこに生きる市民とともに考えていく手法を探っていく。今後も、さまざまな視点から、事業を展開していく。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(1) 中央公民館開館50周年を機とした記念事業を実施する。
事業の概要	ハード：老朽化が進む中央公民館を少しでも利用しやすくするため、トイレの洋式化、談話室・中庭部分の改修ほかの修繕を行う。 ソフト：記念講演会の開催、記念誌の発行、公民館だよりを広報に折り込み全世帯配布、子ども公民館だよりの発行など
事業の成果	ハード：中央公民館のトイレを洋式化、談話室と事務室との間の壁を一部取り払った。中庭をきれいにし、目隠しフェンスを設置した。 ソフト：①第29回公民館まつり内の7月2日（土）、中央公民館開設50周年記念「お祝いの会」を講座室で開催。公民館利用者の皆さんからのメッセージほか ②記念講演会「池上彰と世界について考える」を9月5日（日）、実践女子大学香雪記念館で実施。参加者375名。講師 池上 彰 氏、村松 真貴子 氏 ③中央公民館開設50周年記念誌「ありがとう50年」の発行。A4判114ページ。500部作成 ④公民館だより特集号（第150号）発行。A3判二つ折り8ページ、カラー印刷。広報ひの12月15日号に折り込んだ。 公民館の50年の節目に、今までの公民館のあゆみを振り返り、未来に向けて、さらに市民の生涯学習の充実をめざした公民館の在り方を検討していく。
公民館運営審議会の意見	・50周年を機に、さらなる飛躍を期待する。 ・ハード面では、改築や新築といった抜本的な対策が難しい中、この機会に改修をした価値は大きい。 ・談話室のリニューアルは、明るくなり、利用しやすい雰囲気になった。 ・記念誌を、より多くの方に見てもらえるようPRしてほしい。 ・50周年を機に、具体的にこれからの日野市の公民館をどうしていくのか、市民はそこを知りたがっている。
事業の課題と改善策	記念事業を単なる「打ち上げ花火」としないよう、51年め以降の公民館の役割をしっかりと見据えて、その存在意義と意味をしっかりと外部へ発信していく。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(2) 「新しいことが生まれるみんなの居場所」としての談話室の活用をすすめる
事業の概要	中央公民館談話室を、有効活用するための方策を考える。 事務室との壁を取り払い、職員と利用者との間のつながりを大切にするため、職員の意識改革も含めて新たな風を吹き込むことをめざした。
事業の成果	6～7月の公民館まつりの中に「ミニバラエティサロン」として談話室で利用サークルの講師4名によるコンサートを開催した。 また、1月以降、近隣のひの児童館、日野市社会福祉協議会（ボランティアセンター）と「ご近所会議」を開催し、活用方法を検討、「ゆる・カフェ・時間」と称するイベントを月1回試行している。
公民館運営審議会の意見	・新しいことが生まれるみんなの居場所というコンセプトによる談話室の活用は素晴らしい。 ・単なる憩いの場、打ち合わせの場ではなく、多くの人が集えて楽しめる場となるようなイベント展開を。 ・中庭についても、整備を進めてほしい。
事業の課題と改善策	談話室とそこからつながる中庭について、その活用方法を利用者とともに考え、整備を進めたい。 市民の居場所（サードプレイス）となるよう、多方面の協力、連携を得ながら、種をまき、活用を広げていく。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(3) 情報発信力の向上を図る
事業の概要	公民館公式ツイッターでの発信を積極的に行い、親しみやすい公民館をPRする。
事業の成果	121回 4月から3月の間にツイッターで発信した。なかなかフォロワーは増えないが、じわじわと数字を伸ばし142となっている(H29.5.7現在)。 新たなツールとしてのSNSでの情報発信を活用し、さらに発信力を高める工夫を図る。
公民館運営審議会の意見	・少しずつだが、改善されていることがたくさんある。より拡充・継続を。 ・事業の早期計画、早め早めのPRに努めてほしい。 ・ツイッターについては、フォロワーをいかにして増やしていくか、努力が必要であろう。
事業の課題と改善策	計画的に講座を企画し、極力早い時期からPRを進める。「公民館ここにあり」をしっかりと知らせられるように努める。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(4) 学びの場の充実として、基本施策2・6についてを重点施策とする
事業の概要	基本施策2「誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める」と基本施策6「日野市をふる里として生きいけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する」に基づく講座・事業を実施する
事業の成果	基本施策2：従来はなかったジャンルの講座（LGBT）を設け、またこれまでおこなってきた障害者関連、国際理解関連講座を増やした 基本施策6：日野用水開削450周年を翌年に迎えるため、通年事業として用水関連講座を実施、日野市歌をはじめとする「ひのの歌」講座を行い、また、ひの市民大学において多くの地域に関する講座を実施した。 10の基本施策の中で重点施策項目を定めることで、基本施策のバランスを図った。
公民館運営審議会の意見	・基本施策2と6 いずれも多く多くの講座が実施され、多くの参加者を集めて学びの場としての成果があったと思われる。 ・この2施策を重点にする試みはよかったと思う。
事業の課題と改善策	バランスを保ちながらも、公民館としての重点施策を鑑みながら、講座を企画していく。

公民館事業のあらまし

公民館主催事業(講座・教室など)を事業分類ごとに紹介。

① 成人事業

ア. バラエティサロン

地域の中で気軽に“質の高い文化”に親しめる場として位置付け、音楽の演奏会等を開催する。

回	開催日	内 容	出 演	会 場	参加人数
274	7月1日～3日	公民館まつり内「プロ棋士・村山慈明七段が日野市にやってくる～15人と多面指し」「ミニバラエティサロン」	村山慈明氏 ほか	中央公民館	350
275	12月10日	フラメンコギターの調べ	トレスノータス	平山交流センター	68
276	1月14日	新春初笑い寄席	林家 彦丸氏	中央公民館	55
277	2月11日	モンゴル草原に響く 馬頭琴とホーミーの音色を楽しむ	スリバット・ナランバット氏	市民の森ふれあいホール	78
278	3月20日	中央公民館は50歳、日野高も同じ年、だから一緒に楽しもう	都立日野高校ダンス部ほか	七生公会堂	85

イ. 映画会

名画と呼ばれる作品を取り上げて上映し、その時代背景、製作過程、監督、俳優などについて考察する。午前10時からと午後1時30分からの2回上映した(276～278回は1回上映)。上映会場は中央公民館で4回、福祉支援センターで3回、多摩平の森ふれあい館で1回。

回	開催日	作 品	監 督	出 演	参加人数
271	4月24日	狂言入門 3本立て			29
272	5月28日	「源氏物語の世界」 「国宝源氏物語絵巻」	秋山光和 監修		71
273	6月25日	荷車の歌	山本 薩夫	望月 優子ほか	70
274	7月2日 (公民館まつり内)	チャップリンの「犬の生活」「キッド」	C.チャップリン		20
275	7月30日	チャップリンの「黄金狂時代」	C.チャップリン		28
276	8月6日 (平和事業内)	「ヒロシマ・原爆の記録」ほか	ジャン・ユンカーマン		26
277	11月26日	「羅生門」	黒澤 明	三船 敏郎 ほか	42
278	2月25日	「二十四の瞳」	木下恵介	高峰 秀子ほか	44

ウ.ばそこんくらぶIN高幡台分室

開催日	4月1日～3月17日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全20回
内容他	原則として毎月第1・第3金曜日の午前に開催。みんなで楽しくパソコンを学べて交流できる場として定着しはじめている。
講 師	松村 良氏
参加人数	延べ146人

エ. 楽しい農業体験 親子でスイカを作ろう

開催日	5月7日～8月27日
会 場	南平耕作地
開催回数	全5回
内容他	南平の耕作地で、スイカの植え付けから収穫までを親子で実体験をした。
講 師	濱田 豊氏ほか
参加延べ人数	延べ169人

オ. 国際理解講座 モンゴルから見える日本～家族・教育・暮らし

開催日	5月15日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	日本に近い国、モンゴルに視点を置き、暮らしや文化の違いを比較しながら話を聞いた。
講 師	BEGZSUREN BADAM 氏
参加人数	51人

カ.. 私たちの“意思”って何？18歳選挙権時代へ

開催日	6月7日～6月14日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	① 選挙について:実際の投票用紙・投票箱を用いた模擬投票、架空の候補者を講師が用意して投開票、話し合いをおこなった ② もしまちに公園をつくるとしたら、をテーマにそれぞれの立場から理想の公園をつくる話し合いをおこなった。
講 師	NPO法人Youth Create
参加人数	延べ24人

キ. はじめての陶芸

～自作の器で過ごす優雅な時間を思い描きながらそばちょこと皿の製作

開催日	6月25日～9月17日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全7回
内容他	陶芸を学ぶ講座。そばちょこと皿をつくった。
講 師	田原 形子氏
参加人数	延べ115人

ク. 日野の用水の面白さを発見

開催日	7月24日
会 場	中央公民館ほか
開催回数	全1回
内容他	次年度に開削450年を迎える日野用水について学ぶ講座。独自の目線でまちあるきをしている講師を招いた。
講 師	真貝 康之氏
参加人数	延べ17人

ケ. クラシックよもやま話

開催日	7月3日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	公民館利用サークル「クラシックよもやま話」の公民館まつり内での活動に合わせた講座。
講 師	渡邊 學而氏
参加人数	15人

コ. 日野の河川と水害～茨城県常総市を例に

開催日	7月30日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全1回
内容他	前年9月の鬼怒川決壊時の状況を常総市職員から語ってもらい、専門家から河川水害の様相を学んだ。
講 師	山田 正氏ほか
参加人数	27人

サ. 親子で大豆を育てて豆腐を作ろう

開催日	9月3日～1月21日
会 場	南平耕作地
開催回数	全5回
内容他	親子で大豆を育てて収穫し、豆腐を作るまでを体験する講座。郷土資料館との共催事業。
講 師	濱田 豊氏ほか
参加人数	延べ78人

シ. 日野の用水の面白さを発見

開催日	8月28日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	次年度に開削450年を迎える日野用水を活用した講座。手作りの舟を用水に浮かべて遊ぶ場とした。
講 師	山田 斗志也氏
参加人数	10人

ス. LGBT入門講座～セクシャル・マイノリティ理解のために

開催日	9月10日～9月24日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	LGBTについての入門講座。講義とグループワークをおこなった。
講 師	橋本 恭子氏、虹色とんちーほか
参加人数	延べ35人

セ. おとなの食育講座～カラダの内側からキレイ・元気に

開催日	9月10日～9月24日
会 場	七ツ塚ファーマーズセンター
開催回数	全3回
内容他	① 食の色彩の不思議 ② 農家女性直伝レシピ ③ 美味しく食べてアンチエイジング
講 師	白尾 美佳氏ほか
参加人数	延べ58人

ソ. 基礎から学ぶボールペン習字講座

～暮らしの中で使う言葉を美文字にする(保育付き)

開催日	10月8日～12月10日
会 場	中央公民館
開催回数	全5回
内容他	人気のあるボールペン習字を学ぶ場
講 師	佐藤 妙子氏
参加人数	延べ114人

タ. 水都日野の歴史と今後～水の資産を活かした地域づくり

開催日	11月26日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全1回
内容他	次年度に開削450年を迎える日野用水を題材とした講座。地形・田園風景・用水のネットワーク、農家の形式について考える場とした。
講 師	陣内 秀信氏
参加人数	30人

チ. 子育て・子育て学び合い講座。私の子育てこれでいいの？

～あなたが子育てで大切にしたいことは何ですか～

開催日	11月29日～1月31日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	① あなたはひとりぼっちじゃない ② いい子ってどんな子 ③ 私の子育て、周りにどう見られているのだろう ④ 私らしい子育て、考えてみませんか をテーマに座学と話し合い
講 師	NPO法人子どもへのまなざし
参加人数	延べ50人

ツ. 障害者理解講座

～障害のある子ってどんな気持ち？見て、聞いて、体験して知ろう！

開催日	12月4日
会 場	多摩平の森産業連携センターPlanT
開催回数	全1回
内容他	障害を体験するコーナーなど、障害児の母親ならではの語り口で理解する場となった
講 師	座間キャラバン隊
参加人数	13人

テ. ミニ木枠で織る簡単かわいいタペストリー

開催日	12月6日～12月20日
会 場	平山交流センター
開催回数	全3回
内容他	木枠をタペストリーづくりを通じて、参加者間のコミュニケーションを企画した講座。
講 師	中村 ゆき氏
参加人数	延べ34人

ト. 初心者向け入門講座～パソコン使って楽々ライフ

開催日	12月8日～12月22日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全3回
内容他	パソコン初心者を対象に、インターネットの活用法などを学ぶ場
講 師	シニアネットクラブ
参加人数	延べ30人

ナ. 大人の理科室

開催日	12月10日～3月4日
会 場	立川極地研究所ほか
開催回数	全5回
内容他	理科の様々なジャンルの連続講座。親子の参加もあった。
講 師	中山 由美氏ほか
参加人数	延べ166人

ニ. 初心者向け入門講座～パソコン使って楽々ライフ

開催日	1月18日～2月1日
会 場	豊田駅北交流センター
開催回数	全3回
内容他	パソコン初心者を対象に、インターネットの活用法などを学ぶ場
講 師	シニアネットクラブ
参加人数	延べ33人

ヌ. 新たな自分を発見！！からだあそびプロジェクト

開催日	1月28日～3月11日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	ダンスや体の動きを学び、ステージ発表を目指すものとした。
講 師	原 ななえ氏
参加人数	延べ22人

ネ.. 実用ワード・エクセル講座

開催日	2月4日～3月4日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全4回
内容他	パソコンの入力がひととおりできる人を対象に、ワード、エクセルについて、図や写真の挿入や段落やページの割り付け、簡単な関数の利用など具体的な利用の仕方を学んだ。
講 師	松村 良氏
参加人数	延べ52人

ノ. 地域防災と多文化共生～東日本大震災で何があった

開催日	2月4日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	東日本大震災のとき、外国人避難者を仙台で支援した方を講師に迎え、防災と多文化共生について考える場とした。
講 師	菊池 哲佳氏
参加人数	25人

ハ. 国際理解講座～コロンビア篇 幸せの価値観

(人間の楽園ージャングルでの生活)とノーベル平和賞

開催日	2月12日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	「幸福感(価値観)」「ノーベル平和賞受賞」を軸に、コロンビアと日本との違いを学習する講座。
講 師	ルイス・カミロ氏
参加人数	57人

ヒ. 民主主義と立憲主義のはなし

開催日	3月4日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全1回
内容他	民主主義、立憲主義について、暮らしに身近な話題から硬い内容まで、幅広い話題をもとに学ぶ場。
講 師	木村 草太氏
参加人数	85人

フ. ココロの癒し講座～ストレスとうまく付き合うメンタルトレーニング

開催日	3月4日～3月25日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	① 知っておきたいストレスとメンタルヘルスの基礎知識 ② 知って得するストレス対策 をテーマにして、実践も交えて日ごろの生活に活かせる内容を学ぶ場とした。
講 師	矢森 裕章氏
参加人数	延べ41人

ヘ. おんがくでおでかけ

開催日	3月5日～3月12日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全2回
内容他	おもに未就学の障害児と家族を対象に、体を動かし、音楽で遊ぶノウハウを学んだ。
講 師	国立音大リトミックサークル
参加人数	延べ8人

ホ. かんたん・美味しいコーヒーのある生活

開催日	3月7日～3月21日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	① 入門編 家庭で美味しくコーヒーを淹れるコツ ② 探究編 コーヒー世界三大産地の特徴について
講 師	小林 敬輔氏
参加人数	延べ29人

マ. 日野の生きもの～最近のトピックス

開催日	3月11日～3月25日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	植物、昆虫、野鳥について、それぞれの専門家から話を聞いた。
講 師	日野の自然を守る会
参加人数	延べ86人

ミ. ひのの歌今昔～日野音頭からひのソングまで

開催日	3月12日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全1回
内容他	昭和 30 年代の日野音頭・日野パット節、昭和 58 年の日野市歌、平成年代の空に響け ひのソング」といった、それぞれの時代につくられた日野の歌を学んだ。
講 師	山本 幸正氏ほか
参加人数	62人

ム. 防災は過去から学べ～郷土史の現場からみた過去の災害

開催日	3月18日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	日野市で大きな地震が起きたときのことを歴史から学ぶ講座。
講 師	郷土資料館ほか職員
参加人数	30人

メ. パラリンピック競技を体験しよう！ゴールボール編

開催日	3月25日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回
内容他	2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けて、パラリンピック競技であるゴールボールを体験した。
講 師	小野 和人氏ほか
参加人数	30人

モ. 今年は親子で夢の車をつくろう～カーデザイン教室

開催日	3月28日
会 場	日野自動車デザインスタジオ
開催回数	全1回
内容他	夢の車のデザインを参加者が描き、日野自動車のデザイン担当者からモックアップをつくる工程を学び、実際に作成した。
講 師	折原 利明氏
参加人数	11人

② 成人委託事業

ア. 外国人のための日本語教室＜委託事業＞

地域の中で外国人が生活していくために、必要な日本語を学ぶ場として始まった事業。市内に住む外国人同士や外国人と日本人の交流を通して相互理解を深め、異文化共生を実践する場となっている。

ア)委託先 日野国際友好クラブ

イ)委託料 381,000円

ウ)委託期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

エ)クラス 日本語能力レベルが同程度の学習者ごとに編成。一人の教師が1～3人の学習者を受け持つ。

コース		水曜日(午前)	水曜日(夜間)	金曜日(夜間)
時間		午前10時～正午	午後7時～9時	午後7時～9時
会場		中央公民館 中央福祉センター	七生福祉センター 公民館高幡台分室	中央公民館 中央福祉センター
回数		全36回	全38回	全38回
延べ 参加 人数	学習者	255	229	953
	ボランティア	364	275	753

全112回 1,437人(学習者) 1,392人(ボランティア)

水曜日午前コースに保育あり。

オ)教材

「みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ」、補助教材として絵カードや聴解CD、市販のテキスト、新聞など

カ) 課外授業・行事

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月14日	バーベキューパーティ	ふれあい橋	80
6月18日	防災訓練	立川防災館	22

12月18日	イヤーエンドパーティ	中央福祉センター	97
3月11日	ボウリング大会		23
3月13日	修了式・日本語スピーチ大会	中央公民館	85

延べ参加人数307人

※イヤーエンド・パーティではお互いの国の文化等を披露しあい、修了式では日本語スピーチ大会を行い、楽しみながら交流を深めている。

イ. 田んぼの学校＜委託事業＞

農体験、その他の活動を通じて、自然に親しみ、そこで暮らす生物との繋がり、得られた大地の恵みを享受しながら、生きる・学ぶ・触れ合う・育てる力を学ぶとともに、環境問題も含め、自然と人との共存、人と人との関わり・繋がり場としている。

- ア)委託先 田んぼの学校運営委員会 代表 松本 保
イ)委託料 224,000円
ウ)委託期間 平成28年4月15日～平成29年3月31日
エ)内容ほか

会場	新町水田・南平水田・中央公民館
内容他	種まきから刈り取りまで、季節を通して水田にかかわり、米作りの楽しさと自然の厳しさを学ぶ。12月3日の収穫祭には、もち米を使って餅をつき、食べ、収穫の喜びを分かち合った。
講師	福島 久夫氏 和田 菊代氏 和田 昇治氏 田中 実氏 阿川 良一氏 鈴木 秀一氏
参加人数	新町延べ参加人数 285人 南平延べ参加人数 336人 全17回 621人

ウ. 公民館平和事業

日野市では8月を平和月間として、事業を展開した。公民館では、映画、公演をとおして、平和の大切さを考える場とした。

- ア)委託先 公民館平和事業実行委員会 代表 村上 敏雄
イ)委託料 150,000円
ウ)委託期間 平成28年7月23日～平成28年8月31日
エ)内容ほか

会場	中央公民館、多摩平の森ふれあい館、ひの煉瓦ホールほか
内容他	① 平和映画「ヒロシマ・原爆の記録」「HELLFIRE: 劫火～ヒロシマの旅」と公演「若者は考える～未来の私たちに伝える過去の記憶」(8月6日、多摩平の森ふれあい館) ② 平和公演「8月に何があった～次の世代に伝える戦争と平和」(8月13日、ひの煉瓦ホール) 合唱と朗読、戦争体験談から平和の大切さを考える
講師・出演	星槎国際高等学校、茂呂薫子氏、内藤和美氏、朗読サークルのんど会・うづき、混声合唱団コーロ・ファミリーア、チューリップツリーほか
観覧者	①52人 ② 40人

③ 高齢者事業

ア. 程久保うたごえパーク

開催日	4月9日～3月11日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全10回
内容他	皆で集い楽器の伴奏に合わせて大きな声で歌うことで、家にこもりがちな方がストレス解消・リフレッシュをするとともに、仲間づくり・生きがいづくりの場を提供した。
講師	樋口 周子氏ほか
参加人数	延べ210人

イ. 朗読サロン

開催日	4月21日～1月29日
会場	中央公民館高幡台分室ほか
開催回数	全7回
内容他	公民館で活動をしている朗読サークルへ“発表の場を提供する”ことと同時に、小さな文字を読むのが段々と敬遠しがちな高齢者を対象に、名作を朗読で楽しんでもらい、参加者同士の交流を図ることができた。
講師	朗読の会「うづき」、「日野にじの会」、「のんど会」
参加人数	延べ201人

ウ. シルバーエイジを軽やかに生きる～片づけからはじめる生前整理

開催日	6月23日～7月7日
会場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	自分のまわりのモノを整理することはココロを整えること」という視点からの講座。「生前整理」の基本と実践
講師	讃岐 峰子氏
参加人数	延べ94人

エ. わくわくマジック実験とお菓子づくりで交流しよう☆プロジェクト

開催日	9月18日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全1回
内容他	地域の高齢者と小学生の交流事業を明星大学生とともにすすめることで、異世代交流を図った。実験のような調理とマジックの両方を楽しんだ
講師	乾杯の種(明星大学サークル)
参加人数	22人

オ. ハーブティーをブレンドしてみよう

開催日	9月29日～10月4日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回
内容他	ハーブティーの効能を学んだ。今回はリラックスできるようなブレンドの作り方を学びながら参加者の交流を図った。
講師	森川 京子氏
参加人数	延べ27人

カ. 地域デビュー応援講座Ⅱ フリーペーパーづくりでまちをたのしむ

開催日	11月5日～12月17日
会 場	中央公民館高幡台分室、福祉支援センター
開催回数	全4回
内容他	「フリーペーパーづくりを通して自分たちの住む地域を再度見直そうという内容。ミニリーフレットが完成した
講師	けやき出版
参加人数	延べ40人

キ. シニア世代の食と栄養を考える

開催日	12月1日～12月15日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	豊かな高齢期を送るために「何をどう食べるか」とあわせて「どのように食べるか」という視点から話し合いを交えた講座とした
講師	白尾 美佳氏ほか
参加人数	延べ33人

ク. 防犯講演会～犯罪心理学の観点から

開催日	2月23日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	地域における犯罪抑止力を向上させ「犯罪や事故のない安全で住みよいまちづくり」を目的とした講演会
講師	越智 啓太氏
参加人数	30人

④ 青少年事業

ア. 夏休み！公民館で新聞づくり体験

開催日	7月27日～8月26日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	「子ども公民館だより」作成を目標とした講座。子ども公民館記者として地域や公民館で取材活動を行い、記事をつくり、公民館だより150号に掲載した
講師	須藤晃氏(毎日新聞社)ほか
参加人数	延べ25人

イ. 夏休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	7月29日～8月2日
会 場	中央公民館
開催回数	全2日
内容・講師	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施し、さまざまなプログラムを展開した。 (1日目) ① 夏の星空のお話と星座早見盤の製作／本間隆幸氏 ②アートフェスティバルに立体作品を出そう／中村ゆき氏、高橋勉氏 (2日目) ① 影絵をつくってみよう／河野里美氏 ②ペットボトルロケットを飛ばそう／日野自動車親和会
参加人数	延べ19人

ウ. 春休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	3月29日～3月30日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2日
内容・講師	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施し、さまざまなプログラムを展開した。 (1日目) ① 新聞紙ピラミッドをつくってみよう／山田 修平氏 ②「メディシンボールであそぼう／川村 文夫氏 (2日目) ① おもしろ実験クッキングに挑戦～手作りチーズからピザを作ろう／出水 照子氏 ②ネット地図で探検する日野と世界の形／今尾 恵介氏
参加人数	延べ42人

⑤ 青少年委託事業

ア、ひのっ子シェフコンテスト

市内の小学校4年から6年生を対象に、学校の給食で食べてみたい献立を募集した。

ア)委託先 ひのっ子シェフコンテスト実行委員会

イ)委託料 157,000円

ウ)委託期間 平成28年11月7日～平成29年2月17日

エ)内容ほか 46グループ(94人)から書類審査で選ばれた6グループ(11人)が参加する調理コンテストを2月5日に日野第一中学校で実施した。当日は、会場となる調理室内に本選出場者11人、審査員3人、子ども審査員4人、実行委員8人、会場校一中栄養士1名ら計32人が、また出場者の家族約30人が廊下のモニター等で観覧をしていた。

「調理の手際の良さ」「日野産野菜の使い方」「きれい・美しさ」「アイデア・工夫」「おいしさ」について審査し、最優秀賞2組、敢闘賞、努力賞、栄養士と調理員が選んだ特別賞1組を選んだ。

⑥ひの市民大学

講座の企画・運営の検討から市民とともに行う「ひの市民大学」は、「いつでも どこでも だれもが学べる場」をキャッチフレーズにして平成11年5月に開校した。

開講式・記念講演「カラヴァッジョ絵画の魅力」

開催日	5月7日
会 場	七生公会堂
開催回数	全1回
内容他	① 学長(市長)あいさつ ② NHK主催展覧会「カラヴァッジョ展」との共催講演会
講師	大野 陽子氏(群馬県立女子大学文学部美学・美術史学科准教授)
参加人数	135人

ア) 体内年齢を若くする「健康リズム体操」

開催日	7月12日～7月26日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	(1)ストレッチで筋の弾力性・柔軟性を高める (2)リズム体操で体温を上げる (3)簡単エアロでリフレッシュ
講師	武田 瑞 氏(エアロビクスインストラクター)
参加人数	延べ230人

イ) めか漬けマラソンはじめてみよう

開催日	8月5日～9月9日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全2回
内容他	講師が漬けたサラダ感覚で食べられるめか漬けをいただき、めか床で何がおこっているのか、乳酸菌の不思議な力を学ぶ。
講師	おかべ なおえ氏(めか漬けマラソン主宰)
参加人数	34人

ウ) みんなでめざそうアスリート

開催日	9月3日～10月29日
会 場	日野市陸上競技場
開催回数	全2回
内容他	① 体の軸をまっすぐにする歩き方、走り方 ② ストレッチ・動き作りなどをしながら、筋の弾力性や関節の柔軟性を高める ③ プロによる早く走るコツを学ぶ ④ 小学生と中学生が交流を持ちながらリレーなどを楽しむ
講師	小澤 希久雄氏(元コニカミノルタ陸上競技部)ほか
参加人数	278人

エ) 日野煉瓦工場を作り日野駅設置まで成し遂げた偉人

開催日	10月5日～10月19日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	① 日野の近代化に力を尽くした「土淵英」を識る ② 日野煉瓦について
講師	土淵 眞佐子氏(八坂神社神主)ほか
参加人数	87人

オ) 私たちはどこから来たのか～700万年人類史～

開催日	10月6日～10月27日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全4回
内容他	① アフリカで生まれた人類 ② アジアに拡散した原人たち ③ サピエンスの世界戦略 ④ 孫たちに贈る二つの世界
講師	馬場 悠男氏(国立科学博物館名誉研究員)
参加人数	延べ186人

カ) ふるさと日野 歴史散歩

開催日	10月14日
会 場	福祉支援センター
開催回数	全1回
内容他	高幡不動尊、高幡城址、金剛寺旧跡公演、寿徳寺などの歴史と現状を学習
講師	山倉 一穂氏(元NHK学園講師)
参加人数	25人

キ) 中高年から始めるらくらくピアノ

開催日	10月29日～11月19日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	① わずか15分で両手で弾ける秘密とは？ ② 指のバラバラ運動、ハノンで脳トレ ③ ベートーベン第九を仕上げましょう
講師	原嶋 由利氏(社団法人全日本らくらくピアノ協会専務理事)
参加人数	延べ50人

ク) 街フォント-日野編-

開催日	11月26日～12月17日
会 場	多摩平交流センター、七生福祉センター、キョテン107
開催回数	全3回
内容他	豊田・高幡不動・日野の各駅周辺の「フォント」を採集し、最終日に「フォント選定会」を開催した。
講師	笠置 秀紀氏(武蔵野美術大学非常勤講師)
参加人数	17人

ケ)魅惑の西洋近代美術

開催日	2月15日～3月8日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	① プッサンとフランス古典主義～太陽王の世紀 ② ジョルジュ・ド・ラ・トゥール～夜の瞑想～ ③ ヴァトーとロココ絵画～雅な宴～ ④ ゴヤ～スペインの光と影
講師	斎藤 陽一氏(元NHK制作プロデューサー)
参加人数	280人

コ)地球温暖化の諸問題とその防止対策

開催日	2月18日～3月4日
会 場	多摩平の森ふれあい館
開催回数	全3回
内容他	① パリ協定と日本～インドの暑さ対策 ② 東日本大震災と原子力～ルンギの巻き方 ③ 世界の温暖化対策～エコグッズ紹介
講師	広瀬 公巳氏(NHK解説委員)
参加人数	延べ77人

サ)日野囃子を踊ろう

開催日	2月18日～3月4日
会 場	生活・保健センター
開催回数	全2回
内容他	日野囃子を、参加者みんなで踊る
講師	日野囃子保存会
参加人数	延べ65人

シ)ロゴづくり講座

開催日	3月12日
会 場	キョテン107
開催回数	1回
内容他	プロのデザイナーにロゴの制作方法を学ぶ。最終的に市民大学のロゴのコンセプトを決定する。
講師	佐藤 菜々子氏(デザイナー)
参加人数	13人

⑦障害者事業

ア. 少年学級 <委託事業>

市内の障害のある児童・生徒を対象に、月一回の定例会を開き、地域の子供たちやボランティアと一緒に遊び、学んでいる。また年7回第2土曜日には、リトミック教室を開催している。

運営は、地域の方々との交流を図ることを目的に「日野市少年学級親の会」が行っている。ボランティアは、中央大学のボランティアサークルを中心に、高校生・大学生と社会人も参加している。

ア)委託先 日野市少年学級親の会 会長 斉野 美紀

イ)委託料 1,503,360円

ウ)運 営 日野市少年学級親の会役員

会 長 斉野 美紀

副会長 中島 昌子・鹿野 淳子

会 計 小島 喜美代

書 記 大知 理恵

庶 務 五十嵐 水香

会計監査 古木 由紀子

エ)リトミック教室活動内容

開催日	6月11日～1月14日 午前10時～正午
会 場	中央公民館
開催回数	全7回
講師	山崎 詩奈子 氏
参加人数	延べ97人

オ)定例会活動内容

月 日	内 容	会 場	参加人数
4月17日	こあらんど	中央公民館高幡台分室	69
4月21日	総会	中央公民館高幡台分室	12
5月8日	開級式	中央公民館高幡台分室	103
6月12日	みんなの遊・友ランド	市民の森ふれあいホール	92
7月7日	合宿説明会	中央公民館高幡台分室	10
7月7日	保護者親睦交流会	中央公民館高幡台分室	14
8月26日～ 27日	夏合宿	大成荘(山梨県)ほか	49
9月11日	ボウリング大会	立川スターレーン	58
10月9日	運動会	中央公民館高幡台分室	81
11月13日	サッカー教室	中央公民館高幡台分室	64

12月9日	クリスマス会	中央公民館高幡台分室	76
1月26日	リトミック懇談会	中央公民館	18
2月12日	豆腐作り例会	中央公民館高幡台分室	62
3月28日	バスハイク	八景島シーパラダイス	59

14回 延べ767人

イ. 青年・成人学級 <委託事業>

青年・成人学級は「健康な青年と触れ合う場所が欲しい」という障害を持った青年達の願いを実現するために、昭和50年に「日野市障害者青年学級」として誕生した。スローガンとして「ともに生き、ともに学ぶ」を掲げ、地域に根ざした活動を続け、現在に至る。

この学級の特色は、16歳以上の障害を持つ青年も持たない青年も一緒になって、自分達の学級の企画・運営を行っている点にある。現在さまざまな障害を持った青年達と学生や社会人など多彩な青年達が、定例会と分科会に参加し活動している。

平成5年度から地域で生活する成人期の障害者を対象に、衣食住働などを学習する分科会「生活を考える」が始まり、平成9年度には成人講座として交流中心の青年学級とは別に活動するようになる。対象は25歳以上の希望者で、地域での生活についてさまざまな問題を学習する場を提供し、生き生きと暮らす力を学ぶことを意識してプログラムを組んでいる。平成12年度より、成人講座から成人学級へ変更し、平成28年度から団体名も新しく「日野市青年・成人学級」となり、積極的な活動を続けている。

ア) 委託先 日野市障害者青年・成人学級仲間の会 代表 木村 美子

イ) 委託料 2,613,000円

ウ) 運 営 青年・成人学級運営委員会役員

青年学級担当 運営委員長 向山 貴子

会 計 長谷川 千夏

成人学級担当 熊谷 亜由美

各学級の各定例会の前に運営委員会を開き、企画・準備を行った。

エ) 青年学級定例会活動内容

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月15日	開級式	中央公民館	55
6月19日	料理(カレーライスBAR)	中央公民館	68
7月17日	合宿説明会	中央公民館	57
8月 5日 ～7日	夏合宿	八ヶ岳高原大成荘	86
9月18日	多摩動物公園散策	多摩動物公園	中止
10月16日	サッカー教室	仲田小学校	52
11月27日	遠足	富士サファリパーク	68

開催日	内 容	会 場	参加 人数
12月18日	クリスマス会	新町交流センター	65
1月15日	新春お楽しみ会	ひの煉瓦ホール	62
2月19日	ハンバーガー&プリンの会	中央公民館	59
3月19日	修了式	生活・保健センター	47

11回 延べ619人

オ)成人学級活動内容

開催日	内 容	会 場	参加 人数
5月15日	開級式	中央公民館	16
6月5日	高幡不動アジサイまつり	高幡不動	13
7月3日	カラオケ	モコモコ	13
8月7日	調理実習	中央公民館調理実習室	14
9月4日	ボウリング大会	SAP日野	13
10月2日	散策	多摩動物公園	14
11月5日 ～6日	合宿	筑波山	15
12月18日	クリスマス会	新町交流センター	13
1月15日	新春おたのしみ会	ひの煉瓦ホール	9
2月5日	新年会	サカエヤ茶楼	14
3月19日	修了式	生活・保健センター	10

11回 142人

イ)分科会活動内容

A.ワープロ

開催日	4月～3月 第2・4金曜日 午後7時～8時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全22回
講師	栗原 亜希子 氏
参加人数	延べ65人

B. 料理

開催日	6月～3月 第2土曜日 午前10時～午後0時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全6回(6月・7月・9月・11月・1月・3月)
講師	鈴木 直美 氏
参加人数	延べ109人

C. リズム体操

開催日	6月～3月 第4日曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館、市民の森ふれあいホールほか
開催回数	全7回（6月・7月・9月・10月・1月・2月・3月）
講師	前田 致加子 氏
参加人数	延べ82人

D. コーラス

開催日	9月～3月 第4土曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全7回（9月・10月・11月・1月・2月・3月）
講師	樋口 周子 氏
参加人数	延べ71人

4 公民館利用状況

(1) 中央公民館

① 目的別利用数（年間）

公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ （文化関係）		市民グループ （体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1,045	15,449	2,748	25,072	96	739	96	1,684	6	90	3,991	43,034

※ 陶芸窯利用38回 登録団体7サークル

(回)(人)

③ 目的別利用数（月別）

	公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ （文化関係）		市民グループ （体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	57	590	267	2,575	16	123	0	0	0	0	340	3,288
5	55	664	235	2,074	14	85	48	784	0	0	352	3,607
6	160	2,659	227	2,106	9	80	0	0	0	0	396	4,845
7	156	2,505	222	2,156	3	23	9	72	0	0	390	4,756
8	107	1,727	185	1,522	5	35	0	0	0	0	297	3,284
9	58	1,727	237	2,166	13	62	0	0	0	0	308	3,955
10	77	913	238	2,215	6	53	2	38	0	0	323	3,219
11	73	754	233	2,086	8	78	32	704	0	0	346	3,622
12	76	818	208	1,825	3	18	1	6	4	60	292	2,727
1	68	1,100	216	1,948	11	120	3	75	0	0	298	3,243
2	89	1,024	230	2,048	3	25	1	5	2	30	325	3,132
3	69	968	250	2,351	5	37	0	0	0	0	324	3,356
計	1,045	15,449	2,748	25,072	96	739	96	1,684	6	90	3,991	43,034

(回)(人)

④ 部屋別利用率（月別）

月	区分	講座室 A	講座室 B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	68.0%	72.0%	84.0%	28.0%	56.0%	96.0%	76.0%	40.0%
	午後	88.0%	80.0%	84.0%	16.0%	72.0%	88.0%	84.0%	4.0%
	夜間	52.0%	44.0%	52.0%	4.0%	32.0%	56.0%	84.0%	4.0%
5	午前	78.3%	73.9%	82.6%	34.8%	78.3%	100.0%	87.0%	60.9%
	午後	87.0%	87.0%	87.0%	26.1%	73.9%	95.7%	82.6%	13.0%
	夜間	52.2%	52.2%	60.9%	17.4%	39.1%	60.9%	100.0%	13.0%
6	午前	84.6%	76.9%	88.5%	69.2%	69.2%	92.3%	76.9%	53.8%
	午後	76.9%	69.2%	73.1%	53.8%	50.0%	88.5%	69.2%	11.5%
	夜間	53.8%	46.2%	61.5%	30.8%	46.2%	69.2%	96.2%	15.4%
7	午前	85.2%	81.5%	88.9%	40.7%	66.7%	96.3%	85.2%	51.9%
	午後	81.5%	85.2%	77.8%	18.5%	44.4%	100.0%	66.7%	18.5%
	夜間	29.6%	29.6%	63.0%	14.8%	59.3%	59.3%	92.6%	14.8%
8	午前	56.0%	56.0%	68.0%	28.0%	52.0%	84.0%	84.0%	28.0%
	午後	72.0%	72.0%	68.0%	12.0%	36.0%	88.0%	68.0%	16.0%
	夜間	28.0%	28.0%	44.0%	12.0%	24.0%	80.0%	76.0%	12.0%
9	午前	68.0%	68.0%	72.0%	40.0%	40.0%	96.0%	72.0%	48.0%
	午後	64.0%	60.0%	80.0%	16.0%	24.0%	88.0%	60.0%	4.0%
	夜間	52.0%	52.0%	56.0%	4.0%	44.0%	60.0%	64.0%	0.0%
10	午前	65.4%	69.2%	65.4%	42.3%	42.3%	92.3%	69.2%	53.8%
	午後	57.7%	57.7%	69.2%	11.5%	30.8%	80.8%	61.5%	3.8%
	夜間	65.4%	61.5%	61.5%	7.7%	38.5%	53.8%	76.9%	3.8%
11	午前	79.2%	79.2%	70.8%	58.3%	62.5%	83.3%	87.5%	66.7%
	午後	75.0%	75.0%	75.0%	25.0%	54.2%	83.3%	62.5%	12.5%
	夜間	66.7%	66.7%	66.7%	4.2%	37.5%	70.8%	75.0%	4.2%
12	午前	56.5%	47.8%	60.9%	60.9%	43.5%	69.6%	69.6%	56.5%
	午後	82.6%	69.6%	65.2%	39.1%	43.5%	73.9%	56.5%	4.3%
	夜間	60.9%	60.9%	60.9%	4.3%	39.1%	65.2%	73.9%	4.3%
1	午前	70.8%	66.7%	79.2%	45.8%	50.0%	83.3%	70.8%	41.7%
	午後	70.8%	79.2%	70.8%	20.8%	45.8%	87.5%	70.8%	8.3%
	夜間	41.7%	33.3%	33.3%	4.2%	29.2%	58.3%	79.2%	4.2%
2	午前	65.2%	56.5%	69.6%	65.2%	39.1%	82.6%	87.0%	52.2%
	午後	82.6%	87.0%	78.3%	47.8%	52.2%	95.7%	82.6%	21.7%

月	区分	講座室 A	講座室 B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
	夜間	43.5%	43.5%	52.2%	26.1%	34.8%	73.9%	73.9%	8.7%
3	午前	73.1%	69.2%	76.9%	50.0%	53.8%	80.8%	65.4%	42.3%
	午後	73.1%	80.8%	84.6%	15.4%	42.3%	84.6%	84.6%	15.4%
	夜間	26.9%	23.1%	30.8%	0.0%	30.8%	76.9%	65.4%	0.0%
	年間計								
年間計	午前	71.0%	68.4%	75.8%	46.8%	54.5%	88.2%	77.4%	49.5%
	午後	75.8%	75.1%	76.1%	24.9%	47.1%	87.9%	70.7%	11.1%
	夜間	47.5%	44.8%	53.5%	10.8%	38.0%	65.3%	79.8%	7.1%

(使用日数/開館日数=%)

(2) 中央公民館高幡台分室

① 目的別利用数 (年間)

公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
258	3,354	2,180	18,642	348	2,555	172	2,267	101	1,288	3,059	28,106

※陶芸窯利用 32回 登録団体 5サークル

(回) (人)

③ 目的別利用数 (月別)

月	公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	10	177	179	1,559	34	201	8	92	13	265	244	2,294
5	28	426	174	1,519	28	231	10	142	18	183	258	2,501
6	18	134	186	1,730	38	227	19	207	13	129	274	2,427
7	26	249	186	1,728	30	191	16	212	3	33	261	2,413
8	11	73	184	1,500	21	143	18	286	1	6	235	2,008
9	23	402	178	1,629	29	196	14	126	9	91	253	2,444
10	28	289	165	1,331	32	199	13	133	5	68	243	2,020
11	15	212	178	1,499	22	141	14	158	11	211	240	2,221
12	18	227	177	1,481	25	187	4	70	4	31	228	1,996
1	33	379	184	1,519	30	229	16	204	5	64	268	2,395
2	25	473	179	1,478	24	212	23	378	8	74	259	2,615
3	23	313	210	1,669	35	398	17	259	11	133	296	2,772
計	258	3,354	2,180	18,642	348	2,555	172	2,267	101	1,288	3,059	28,106

(回) (人)

④ 部屋別利用率（月別）

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
4	午前	44.0	52.0	92.0	60.0	60.0	60.0	68.0	64.0
	午後	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0
	夜間	0.0	24.0	20.0	0.0	8.0	8.0	8.0	0.0
5	午前	43.5	95.7	87.0	78.3	56.5	82.6	78.3	34.8
	午後	34.8	60.9	65.2	65.2	73.9	60.9	73.9	39.1
	夜間	0.0	21.7	21.7	0.0	26.1	8.7	13.0	0.0
6	午前	38.5	69.2	76.9	65.4	46.2	69.2	76.9	61.5
	午後	38.5	65.4	73.1	73.1	53.8	61.5	69.2	30.8
	夜間	3.8	23.1	19.2	3.8	15.4	11.5	7.7	0.0
7	午前	48.1	59.3	63.0	51.9	59.3	66.7	66.7	37.0
	午後	33.3	48.1	74.1	48.1	70.4	51.9	51.9	25.9
	夜間	11.1	22.2	18.5	0.0	29.6	7.4	14.8	7.4
8	午前	28.0	48.0	68.0	52.0	44.0	44.0	68.0	48.0
	午後	16.0	60.0	64.0	52.0	72.0	68.0	64.0	32.0
	夜間	0.0	32.0	24.0	0.0	32.0	16.0	4.0	4.0
9	午前	52.0	60.0	76.0	52.0	68.0	84.0	84.0	40.0
	午後	40.0	44.0	68.0	64.0	64.0	52.0	72.0	28.0
	夜間	0.0	24.0	16.0	0.0	4.0	12.0	8.0	0.0
10	午前	34.6	61.5	73.1	57.7	46.2	65.4	69.2	50.0
	午後	30.8	46.2	69.2	57.7	50.0	57.7	61.5	30.8
	夜間	0.0	19.2	23.1	0.0	11.5	3.8	7.7	7.7
11	午前	48.0	56.0	72.0	60.0	52.0	64.0	84.0	28.0
	午後	48.0	44.0	60.0	56.0	64.0	52.0	76.0	28.0
	夜間	0.0	20.0	16.0	4.0	16.0	8.0	4.0	0.0
12	午前	34.8	60.9	82.6	69.6	56.5	69.6	69.6	43.5
	午後	26.1	47.8	69.6	52.2	69.6	56.5	69.6	30.4
	夜間	0.0	17.4	39.1	0.0	13.0	13.0	4.3	4.3
1	午前	62.5	70.8	75.0	58.3	50.0	66.7	87.5	50.0
	午後	41.7	54.2	79.2	54.2	70.8	66.7	75.0	41.7
	夜間	12.5	29.2	25.0	4.2	20.8	4.2	8.3	8.3
2	午前	47.8	69.6	82.6	60.9	47.8	60.9	87.0	47.8
	午後	47.8	65.2	87.0	56.5	60.9	73.9	82.6	47.8
	夜間	0.0	26.1	26.1	0.0	26.1	8.7	4.3	8.7

3	午前	44.4	63.0	66.7	51.9	55.6	70.4	88.9	44.4
	午後	29.6	63.0	77.8	55.6	51.9	66.7	88.9	44.4
	夜間	7.4	37.0	29.6	0.0	25.9	18.5	7.4	7.4
年間計	午前	43.8	63.5	75.9	59.5	53.5	66.9	77.3	45.8
	午後	34.8	54.2	71.6	57.9	62.5	59.9	69.6	34.4
	夜間	3.0	24.7	23.1	1.0	19.1	10.0	7.7	4.0

(使用日数/開館日数=%)

5 第29回公民館まつり

今年度の公民館まつりは、中央公民館開設50周年を記念して、規模を拡大して開催した。「出会い ふれあい 学び合い」をテーマに、6月30日から7月3日までの4日間催された。日ごろ中央公民館を中心に活動している各団体・サークルが、一年間の活動の成果を、作品の展示、音楽演奏、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

参加者 延べ4,200人

開催日	6月30日～7月3日
時 間	10:00 ～ 15:00(7月2日は夕方～夜間も開催)
展 示	下表プログラムのとおり
ステージ	
体 験	
模擬店	
公民館主催イベント	別掲

第29回公民館まつり プログラム

		6月30日(木)	7月1日(金)	7月2日(土)	7月3日(日)
中	実習室			喫茶コーナー	
	談話室		ミニバラエティサロン(別掲)		
	ホール	【ステージ】 ピアノ	懐かしの映像で振り返る 公民館50年	【ステージ】 フルート、オカリナ、二胡、リコーダー、マンドリン、サクソ	【ステージ】 ギター、朗読、外国人によるスピーチ大会
	講座室	懐かしの映像で振り返る 公民館50年	公民館平和公演プレ公演	・公民館開設50周年記念 お祝いの会	【ステージ】 ギター、CD鑑賞と解説、

中央 公民館				(別掲) 【ステージ】 ウクレレ、ハ ーモニカ、合 唱 ・公民館バラ エティサロン スペシャル (別掲) ・公民館映画 会「チャップリ ン特集(別 掲)	ミュージカル
	視聴覚室	【展示と体験】絵手紙、切り絵			
	小会議室				
中 央 福 祉 セ ン タ ー	集会室1.2	手編み、手芸、陶芸、アクリエ絵画、木彫り作品等展示・ 体験、サークル活動紹介			
	福祉講座練習室	水墨画作品展示			
	集会室3	ステンドグラス作品展示、ペン字作品展示・体験			
	健康 相談室	写真作品展示			
	娯楽室2	囲碁・将棋体験			
公民館前広場・ 野外ステージ		開会式		日野囃子、 バンド演奏、 インドネシア 民族舞踊、S ioミニライブ、 剣術演武	コロンビア民 族舞踊、剣 術演武 閉会式
				模擬店、バザー、地元産野 菜・バラ等の販売、おもちゃ 修理の受付等	

児童館前広場			ひの児童館 まつり(同日 開催)	
日野宿交流館			つくってあそ ぼう	香道体験

参加、応援・協力サークル 74団体

○第29回公民館まつり内の公民館主催事業

1、懐かしの映像で振り返る公民館50年(ビデオ上映)

公民館まつりの初期のころの映像を上映した。2回上映、観客計30人

2、公民館平和公演プレ公演

8月に行う若者による平和公演の事前PRを含めたプレ公演。観客25人

3、公民館バラエティサロンスPECIAL「プロ棋士・村山慈明七段が日野にやってくる～15人と多面指し」

日野出身のプロ棋士を呼び、多面指しを開催した。観客150人

4、映画会「チャップリン特集」

チャップリンの「犬の生活」「キッド」を上映。観客20人

5、ミニバラエティサロン

公民館利用の音楽サークル講師によるミニコンサート(4回)。ギター、二胡、フルート・ケーナ・オカリナの演奏。観客延べ200人

6 第12回中央公民館高幡台分室まつり

市内程久保地区に、平成16年4月に公民館事業を運営する恒常的な拠点として高幡台分室が開設された。多くのサークルが登録し、それぞれの学習を通して地域の振興に努めている。

高幡台分室まつりは高幡台分室及び教育センター体育館を会場として、日頃高幡台分室を中心に活動しているサークルが、一年間の活動の成果を、展示、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

来場者 600人

主 催 公民館高幡台分室まつり実行委員会

協 力 公民館利用者交流会

開催日	10月22日
時 間	10:00 ～ 15:00
展 示	俳句作品、書道、版画、ハワイアンキルト、陶芸、写真、歴史資料、鉄道模型、大人のぬり絵
ステージ	まつり囃子、太極拳、マジック、ギター、尺八、ハーモニカ、日本舞踊、一輪車、朗読
体 験	ヨガ、香道、工作、麻雀・オセロ対戦
模擬店	カレーライス、ピザ、もりそば、チョコレートケーキ、おやき、クッキー、コーヒー、フランクフルト、焼きそば、ジュース

7 第20回ひのアートフェスティバル

ひのアートフェスティバルは、市民が集う手作りの芸術祭で、平成9年度から「地域文化の振興」と「身近なところで芸術を享受しよう」という趣旨で開催されている。今回は20回目を迎え、8月20日・21日の両日に仲田の森蚕糸公園を舞台に開催した。ステージ部門では老若男女を問わず熱気あふれる演奏で盛りあがった。

フリーマーケットやクラフト出店などで賑い、模擬店では環境に優しいリユース食器を使った。

参加者 延べ3,900人

共 催 ひのアートフェスティバル実行委員会・中央公民館

開催日	8月20日(土)	8月21日(日)
時 間	10:00～20:00	10:00～19:30
ステージ	日野第一中学校吹奏楽部 チョコチップマグナム パパっ子ベジタブル THE SO-MARS ビートクラブ プレイズ・イン・ザ・サン・ゴスペルクワイヤー 村田村F マトリョミンアンサンブルウリープカ アートオールスターズ アラ・アッソ・ココ	カズン GOLDEN★BAT ビートレンジャー・ショー 聖徳学園中学・高等学校 和太鼓部 ざぶとんず ザ・ビートレス Sena E・SKALATORS タマ・ドリーム・ジャズ・オーケストラ アンヌール
手作り 広場など	ワンワン大行進、ミニチュアガーデン、ふわふわマスコット、オシャレアクセサリ、など	
模擬店、フリーマーケット、クラフト出店、氷の彫刻		

8 パネル・ショーケース展示状況

中央公民館の談話室内にあるパネル・ショーケースは、公民館を利用する自主グループ等が日頃の活動成果の作品を展示し、発表する場となっている。

また、公民館を訪れる方々に対し、広く社会教育活動への関心を与えている。

展示団体・内容

ひの切り絵サークル(切り絵) 楽しいデジカメクラブ(写真)

公民館講座作品(アルミ空き缶工作、夏休み！公民館で新聞づくり体験、地域デビュー応援講座Ⅱ フリーペーパーづくりでまちをたのしむ)

9 公民館保育室

昭和60年度に開設し、専用保育室による保育は平成3年度から始まる。対象は市内在住の1歳6カ月から就学前までの幼児で、公民館主催事業の参加者または年間保育登録をしているグループに保育援助をしている。

親たちが学習・活動をしている間、子どもたちは専任保育者とともに保育室で2時間を過ごしている。天気の良い日には近くの公園にも出かけ、年齢の違う子どもたちとの遊びの中で、思いやりや協力の心も生まれている。親も子も学ぶ機会として「親・保育者・職員」のコミュニケーションを図っている。

(1) 公民館保育室の利用状況

保育援助認定グループ

団 体 名	利用回数	利用延人数
ママのポケット(手芸)	23	131
れあれあ3B体操(健康体操)	3	3
ゆるゆる手作りの会(手芸)	7	20
いるか(子育て学習)	10	26
ACT(子育て学習)	22	52
NP(子育て学習)	16	57
保育付き講座	9	51
保育説明会保育懇談会	1	4
計	91(回)	344(人)

※合同保育を含む

保育援助は事前申込制で、1歳6カ月から就学前まで

10 公民館だより

編集は市民委員の協力により行われている。公民館の活動や事業を知らせるとともに、地域への関心を高めていくことを目的とした。発行回数は、今年度は年4回。A3サイズ2つ折り全4ページ建てで、市内の主な公共施設等に配置している。

号 (発行日)	仕 様	主 な 内 容
第148号 6月18日	A3 判 二 つ 折 り 4 ペ ー ジ 単 色 刷 り 2,500 部 ~ 4,000部印刷	・中央公民館開設50周年記念特集 第三弾 「おめでとうありがとう50年 新しいことが生まれるみんなの居場所」 ・第29回公民館まつり特集 ・平成28年度ひの市民大学開講式を実施しました ・公民館運営審議会では今 ほか

第149号 9月25日	※第150号は特集号のため、広報ひの折り込み、A3判二つ折り8ページ、カラー印刷	・中央公民館開設50周年記念講演会 池上彰と世界について考える ・「公民館開設50周年記念第29回公民館まつり」を開催しました ・この夏もいろいろな催しがありました ・これからの講座を紹介します ・公民館運営審議会からの報告 ほか
第150号 12月15日		・おめでとうありがとう 中央公民館は50周年を迎えました ・公民館だよりは今号で 皆さまのおかげで150号 ・中央公民館50年のあゆみ ・公民館で新しいことを見つけよう ・子ども公民館記者による新聞ができました ほか
第151号 3月21日		・サークルの仲間たち 日本Gゲージクラブ チーム165 ・日野の風景(48) ゆりのきと幼稚園 ・今年もひのっ子シェフコンテストを開催しました ・成人学級・青年学級・少年学級のあたらしいなかまを募集 ・これからの公民館講座「学びがいっぱいです」 ・中央公民館開設50周年事業を終えて ほか

11 中央公民館開設50周年記念事業

昭和41年7月に開館した中央公民館が50周年を迎えるにあたり、記念事業をおこなった。

(1) 中央公民館開設50周年記念「お祝いの会」

日程・会場 7月2日(土)、中央公民館講座室

内容 式典、公民館利用者の皆さんからのメッセージほか。第29回公民館まつり内にて開催。

(2) 記念講演会「池上彰と世界について考える」

日程・会場 9月4日(日)、実践女子大学香雪記念館

参加者 375人

講師 池上 彰氏(ジャーナリスト)、村松 真貴子氏(元NHKアナウンサー)

(3) 中央公民館開設50周年記念誌「ありがとう50年」発行

A4判114ページ。500部作成

(4) 公民館だより特集号発行

公民館だより150号。A3判二つ折り8ページ、カラー印刷。広報ひの12月15日号に折り込み全世帯配布。

《参 考》 平成27・28年度講座等参加人数

	平成28年度	平成27年度
成人事業	6,568	6,269
講座	1,753	1,926
バラエティサロン	636	368
公民館映画会	330	238
委託・公民館平和事業	92	258
委託・外国人のための日本語教室	3,136	2,874
委託・田んぼの学校	621	605
公民館開設50周年記念事業	375	
記念講演会	375	
高齢者事業	657	596
講座	657	596
青少年事業	118	221
講座	86	183
委託・ひのっ子シェフコンテスト	32	38
市民大学	1,477	1,464
障害者事業	1,952	1,813
委託・少年学級	864	835
委託・障害者青年・成人学級	1,088	978
イベント	8,700	9,850
公民館まつり	4,200	3,100
分室まつり	600	650
ひの아트フェスティバル	3,900	6,100
総 計	19,847	20,213

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

第 26 期公民館運営審議会委員名簿

委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
副委員長	鈴木 辰郎	学識経験者
委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	枝川 一巳	公募による市民
委員	内田 清	学校教育の関係者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	南雲 成二	学識経験者
委員	樋口 周子	社会教育の関係者
委員	須崎 奈緒美	家庭教育の向上に資する活動を行う者

任期 自 平成 28 年 7 月 1 日
至 平成 30 年 6 月 30 日

平成 29 年度
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
(平成 28 年度事業)

平成 29 年 9 月
日野市中央公民館

〒191-0011

東京都日野市日野本町七丁目 5 番地の 23

電話 042-581-7580 ファクス 042-581-2110